

東牟婁地方の農業・農村の概要

東牟婁地方は和歌山県南東部に位置し、新宮市那智勝浦町、太地町、古座川町、串本町、北山村の1市4町1村から成り、三重県、奈良県に接しています。

中心地の新宮市から大都市圏までは約250kmの距離で、JR、国道42号、国道168号で3～4時間必要です。

気象条件は、年平均気温16.5℃、年間降水量は3,000ミリと温暖多雨で、夏～秋期には台風の影響を受けやすくなっています。

管内の総農家数は1,333戸、販売農家数は520戸で大半は自給的農家です。販売農家の就業人口は777人、女性就業者率は50%、65歳以上の高齢者就業率は69%と高くなっています。

耕地面積は949ha(H25調査)で、その内水田が620ha、水田割合は65.3%となっており、県全体の水田割合29.8%を大きく上回っているのが特徴です。これらの農地は中小河川沿いに点在し、農家一戸当たりの経営面積は0.76haで県平均の1.01haを下回っており、小規模の稲作を中心とした経営が大半を占めています。



このような中でも、ユズ、ジャバラ、ポンカン、キンカン等の柑橘類、イチゴ、茶、花き・花木類で地域の特産化をはかり、畜産では県産ブランド「熊野牛」の主要な産地となっています。また、地場市場向け野菜の栽培推進によるミニ産地づくりや農産物の高付加価値化や地域活性化を目的とした加工品づくりなど特徴のある農業を展開しています。

表-1 農家戸数、耕地面積

		(戸 ha)						
		新宮市	那智勝浦町	太地町	古座川町	北山村	串本町	合計
農家数	販売農家	116	183	5	112	3	101	520
	自給的農家	144	251	11	139	17	251	813
	総農家数	260	434	16	251	20	352	1333
耕地面積	田	137	260	1	90	5	127	620
	畑	49	80	16	45	11	128	329
	計	186	340	17	135	16	255	949